

# プログラム近況報告

2014年度(2013年10月1日～2014年9月30日)

World Vision

この子を救う。未来を救う。

## タイ王国 トゥンワ地域開発プログラム(THA-191647)



魚を養殖するいけすの前に立つモンコン君(8歳)と母親

### チャイルドストーリー

## 魚の養殖と加工を始め、 収入が向上したモンコン君の家族

トゥンワ地域開発プログラム(以下、ADP)の支援地域に住むモンコン君の両親は漁業で生計を立てています。天候に左右される漁業の収入は不安定で、悪天候が続くと収入のない日が続き、生活は厳しかったと言います。しかしADPの支援でいけすと稚魚を手に入れたモンコン君の両親は、魚の養殖を始めました。モンコン君も餌やりを手伝い、成長した魚を売って得た収入は家計の大きな助けになっています。また母親のジョイさんは、ADPの水産加工グループに参加し、魚を塩漬けや干物にする水産加工の研修を受けました。バケツでエビを養殖する技法も学び、学んだ技術を生かして魚の加工品や乾燥エビを販売することもできるようになりました。この結果、天候に左右されず安定した収入を得ることができるようになりました。

モンコン君はチャイルド・スポンサーに送っていただいた学用品や文房具をととても大切にしています。「大きくなったら学校の先生になりたい」と話すモンコン君。ジョイさんも「息子にはしっかり勉強して、望む職業に就いて欲しい。高等教育まで受けさせてあげたいです」と将来に希望を持っています。



チャイルド・スポンサーに送っていただいたペンを大切にしています

教育開発プロジェクト

基本的な学力の向上とともに、生きるためのスキル習得にも取り組んでいます

 **120**人の子どもたちに補習授業を実施

2013年度に引き続き、子どもの教育の重要性について保護者の理解を促すための啓発活動や、教員の研修を行いました。学校の授業についていけない子どもたちの支援にも引き続き取り組み、2014年度は120人を対象に補習授業を実施しました。その結果、タイ語では40人、算数では29人の成績が、「優秀」なレベルに到達しました。

タウンワ地域では、経済成長に伴い外部からの人やモノ、情報の流入が多くなっており、子どもたち自身が危険から身を守るための知識と技術を身に付ける必要性が高まっています。このため、230人の子どもたちを対象に、年齢にふさわしいライフ・スキル\*を身につけるための研修を実施しました。

※ライフ・スキル:問題解決法、コミュニケーション・スキル、対人関係、チームワーク、決断の仕方、計画性など、生きていく上で必要な知識・技術。



ライフ・スキル研修の様子。ゲーム形式で楽しみながら積極的に意見を表明する練習をしています



ライフ・スキル研修の一環で麻薬の危険性とその予防について学びました

保健開発プロジェクト

感染症の予防や対処法についての知識が着実に普及してきています

 HIV/エイズや結核などの感染症の予防方法を理解する  
保護者の割合 **81.9%**

ADPの研修を受けた20人の保健ボランティアが、地域住民を対象にした集会で、感染症の予防についての啓発活動を行いました。その結果、81.9%の保護者がHIV/エイズや結核などの感染症の予防方法を理解し、87.9%の保護者が感染症が流行した際の対処方法についての知識を得ました。また、地域の青少年の間で望まない妊娠のケースが後を絶たないことから、ADPでは性教育にも力を入れています。その結果、57%の保護者が、性と生殖について子どもたちに適切なアドバイスができ、12-15歳の青少年の5割が望まない妊娠を避ける方法について知識を得ました。今後は知識を行動の変化に結び付けるための取り組みを行います。



ADPが実施した性教育についての集會に参加した思春期の子どもたち

## 経済開発プロジェクト

より持続性、発展性のある収入向上活動を目指しています

## \$ 7つの収入向上グループの運営管理体制を整備

2014年度は、94世帯に対して収入向上のために家畜や魚などを提供するとともに、飼育・繁殖方法についての研修を実施しました。研修を受けた世帯は7つの収入向上グループに参加し、それぞれナマズ、鶏、アヒルなどの養殖に取り組

んでいます。メンバーが将来、自らの力でグループを運営していくことができるよう働きかけを行った結果、会則や役員選出方法、財務管理体制などが整備されました。今後はグループ同士がさらに連携して継続的に活動することを目指します。



収入向上のためにアヒルの養殖に取り組む地域の女性



グループ運営に関する研修を受ける収入向上グループのメンバーたち



## 支援地域の女性のインタビュー

アヒルの飼育を始めて  
収入が向上しました

**Q. 家族構成を教えてください。**

夫と3人の子どもの5人家族です。

**Q. ADPのどのような活動に参加していますか。**

アヒルの飼育方法についての研修に参加し、飼育を始めました。これまでに育てた22匹のアヒルは5,100パーツ(約19,000円)で売れました。これからもアヒルを育てていこうと思います。多くのアヒルを育てているわけではありませんが、私の家族にとっては重要な収入源となっています。アヒルの飼育以外にも、貯金の大切さや家計簿のつけ方を学びました。家族のことや社会の問題についても、以前よりよく考えるようになりました。



支援地域で暮らすカンルエタイさん(中央、37歳)と家族

## ADPスタッフ・インタビュー



### Q.ADPでどのような仕事をしていますか。

プロジェクトの活動やチャイルドの情報に関する事務や、チャイルドとスポンサーの手紙の管理を担当しています。また、定期的にチャイルドを訪問して支援の成果を確認したり、活動の企画も行います。

### Q.2014年、仕事で大変だったことは何ですか。

一人ひとりのチャイルドの成長報告やグリーティングカードを期日までに完成させ、チャイルド・スポンサーに送るのは毎年大変な仕事です。

### Q.ワールド・ビジョンで働く上でのやりがいは何ですか。

様々な人とともに働くことで、自分自身を見つめ直し、成長できることです。また、支援地域に行くと子どもたちが私のことを覚えていて、駆け寄ってきてくれるのが嬉しいです。子どもたちの笑顔を見、笑い声を聞くことが私の仕事の原動力になっています。



トウンワADPスタッフ バンキッド・ティンワン (32歳)

## スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト



チャイルド・スポンサーへ手紙を書くこともチャイルドの成長につながります

チャイルドとの手紙の交流や毎年の成長報告などを通して、支援の成果を実感していただくための活動を行っています。そのため、チャイルドの成長を定期的にモニタリングし、支援事業がチャイルドとその家族、さらに地域の人々の生活をどのように改善しているのか確認を行っています。また、チャイルドの家族や地域の人たちが「子どもを中心とした開発」を理解し、その支援活動の中心を担っていくような啓発活動も行っています。

## 会計報告

THA-191647

収支計算書 自 2013年 10月1日 至 2014年 9月30日

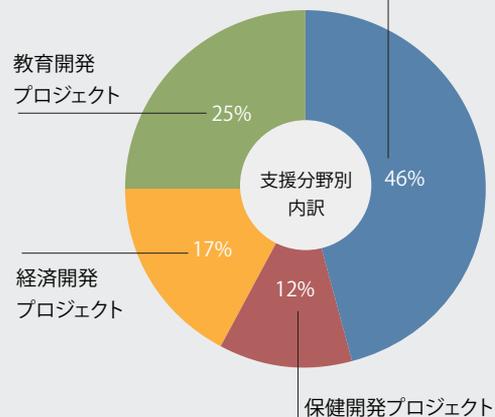
### プログラム支援額(単位:円)

チャイルド・スポンサーシップ	23,816,389
当期支援額	23,816,389
前期繰越金	3,779,848
プログラム支援額合計	27,596,237

### プログラム支出額

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	9,321,221
保健開発プロジェクト	2,523,605
経済開発プロジェクト	3,347,971
教育開発プロジェクト	5,142,501
プログラム支出額合計	20,335,298
次期繰越額	7,260,939

### スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト



お問い合わせ

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン  
 電話：03-5334-5351 (平日 9:30 ~ 17:00)  
 FAX：03-5334-5359

ワールド・ビジョン

検索

ホームページ：www.worldvision.jp  
 e-mail：dservice@worldvision.or.jp